



# ハイブリッド・ピッキング・トレーニング

中指、薬指、小指を使ったハイブリッド・ピッキングによるアルペジオ

CD 00:00~00:18

♩=85

AM7 G#m7(b5) F#m7 Em7(9) DM7 C#m7 Cm7 Bm7 D/E AM7(9)

小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中

人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中

コード弾き、アルペジオをハイブリッドピッキングで。アルペジオ部分はハシリやすくなるので、情性で弾かないようしっかり音符の長さを意識しましょう。一般的なハイブリッド・ピッキングはピック&右手中指、薬指のコンビネーションですが、筆者は更に小指も使用します。本書を通じて右手小指も使えるように練習頑張りましょう。

**写真** 中指、薬指、小指を使ったハイブリッド・ピッキング



指弾きもできる方でも、小指を使える方は少ないと思います。慣れるまで、小指が弦に対して深く入ってひかかってしまったり、バタついてしまうことがあります。フレーズを弾く準備段階として、すべて開放弦で4弦中指、3弦薬指、2弦小指の順番でひたすら弾く練習をしましょう。

中指、薬指、小指を使って2拍4拍にゴースト・アクセントを入れる

CD 00:18~00:34

♩=85

AM7 DM7 C#7(#9) F#m7

小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中 小薬中

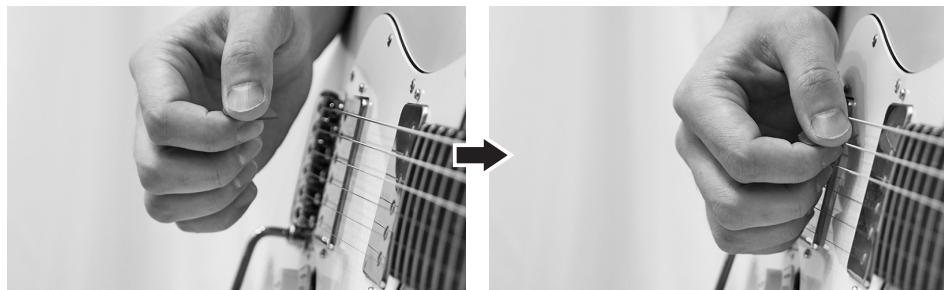
中薬中 中薬中 中薬中 中薬中 中薬中 中薬中 中薬中 中薬中 中薬中 中薬中 中薬中 中薬中

人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中 人薬中

右手を弦に置く動作をゴーストノートとして利用したパターン。右手の手のひら(手首付け根付近)と爪とピックを弦にヒットさせることで、低音と高音が上手くバランスされた音になります。

※ (表記:P)

**写真** ハイブリッド・ピッキングでゴースト・アクセント

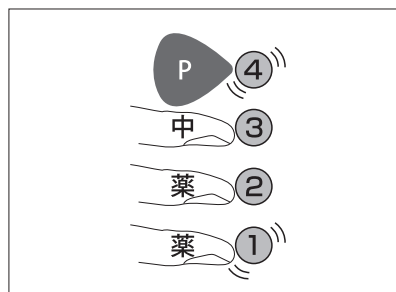


♩=110

人 中 薬 薬 薬 人 薬 小 薬 小 薬 人 薬 小 人 人 薬 人 中 薬 薬 中 人 人

ピックで弾いている弦と隣り合う場合は中指、1本挟んで弾く場合は薬指というように、弦のインターバルが広がるにつれて使用する指を変えていきます(手の大きさによってやりやすいやり方に変えてもOKです)。

図1 1~2小節目のピッキング



1~2小節目では4弦をダウン・ピッキングで弾き、3弦は右手中指、1~2弦は薬指で弾いています。先ほどは小指も使用しましたが、演奏内容、欲しい音色によって、薬指と使い分けを行っています。ダウン・ピッキングと中指及びダウン・ピッキングと薬指というコンビネーションでフレーズが組まれているので、右手の動きを体に入れやすいと思います。

♩=85

人 小 人 薬 人 中 人 小 人 薬 人 人 人 薬 人 小 人 中 人 薬 人 小 人 薬 人 小 人 薬 人 小 人 薬 人 中 人 薬 人 小 人 中 人 薬 人 小 人 薬

中指の可動域を広げるため、今回はあえてピック+中指で演奏します。均等なアーティキュレーションを意識しましょう。

写真 左手ストレッチフレーズ対策



人差し指で5fを押弦しつつ、小指で9fを押さえるこのようなワイドストレッチフレーズでは、このように右足を左足に乗せて、ギターを高い位置にして弾きましょう。5f~9f付近が自分の心臓くらいの高さになると指が開きやすくなります。下の写真のような足台に右足を乗せるのも良い方法です。

